

保健だより 4月号

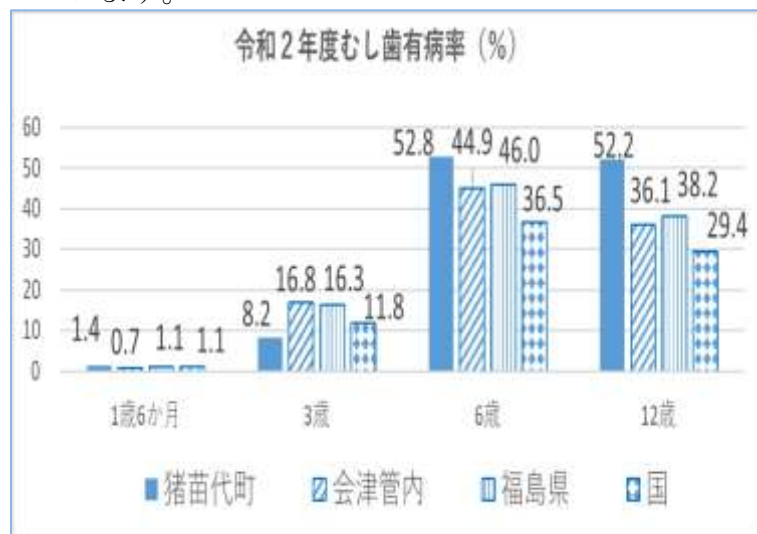
フッ化物塗布事業の実施状況報告

今月の情報は
千葉保健師

●子どもに対する歯科保健事業の現状

本町における子どもに対する歯科保健事業として、1歳6か月児と3歳児健診の際に、歯科医師による歯科健診と歯科衛生士によるブラッシング指導を行い、幼児期～学童期においては、町内こども園と小中学校で歯科衛生士による歯科教室を行ってきました。

各年齢に応じた歯科保健事業を展開し、継続的なむし歯予防を図ってきましたが、以下の表からも分かるように本町の1歳6か月児・6歳児・12歳児におけるむし歯有病率は会津管内や県、国よりも高い状況となっています。



出典：福島県歯科保健情報システム集計結果 R4.6.22 付

このような状況から、令和5年度から1歳～4歳未満のお子さんを対象としたフッ化物塗布を開始しました。

●「フッ化物塗布」とは？

むし歯を予防するのに有効であるフッ化物（フッ化物ナトリウム）が含まれるゲルを歯の表面に定期的に塗る方法です。

歯の表面に塗ることで、歯のエナメル質の強化や再石灰化の促進と、口腔内環境を整え、酸産生とプラーク（歯垢）形成を抑制する働きがあります。

●令和5年度フッ化物塗布実施状況

・実施費用 自己負担なし ※1
（全額公費負担）

・実施回数 全12回

対象となるお子さんには、1か月ほど前にお知らせとアンケートを郵送しました。

対象者数	291人
受診者数	240人
受診率	82.5%

・フッ化物塗布は少なくとも年2回以上（3～4か月に1回程度）、定期的に継続することで、むし歯を予防する効果を最大限発揮します。 ※2

※1 歯科医院で、フッ化物塗布を行う場合は、数百円～千円程度の自己負担になります。

※2 参考：福島県フッ化物応用マニュアル 第二版

●むし歯を予防するためには？

「フッ化物」の他にむし歯予防の基本となるのが毎日の歯みがき（ブラッシング）です。

子どもの歯みがきだけでは、磨き残しが多いため、保護者が仕上げ磨きを行うことが、確実なむし歯予防につながります。

むし歯の原因となる菌は、砂糖などの糖分をエサにしています。甘い食べ物が歯にくっついていて菌が増えて、むし歯につながるため、お子さんのおやつには、①糖分が少ない②短い時間で食べ終わる③歯にくっつきにくい乳製品や果物などがおすすめです。

食後にブクブクうがいをして、食べカスが残らないようにすることも効果的です。

【問い合わせ先：保健福祉課 62-2115】